

RemoteAccess カード

取扱説明書

目次

はじめに	3
本書の表記	3
Windowsの操作	4
商標および著作権について	5
1 RemoteAccessカードとは	6
1.1 各部名称	6
2 RemoteAccessカードのセットアップ	7
2.1 ネットワーク設定	7
2.2 グラフィックスインターフェースの接続	9
2.3 システム構成の参考例	10
3 PCoIP Host Software	11
3.1 PCoIP Host Softwareを起動する	11
3.2 インターフェース (Features)	12
3.3 Network (ネットワーク)	14
3.4 Statistics (統計)	15
3.5 Monitors (モニター)	16
3.6 Image (画像品質)	17
4 Administrator Web Interface	18
4.1 環境設定	18
4.2 ログイン	18
4.3 AWIのメニュー構成	19
5 AWIメニュー詳細	20
5.1 Login画面	20
5.2 Home画面	21
5.3 Configuration	23
5.4 Permissions	34
5.5 Diagnostics	35
5.6 Info	39
5.7 Upload	40
6 トラブルシューティング	41
6.1 トラブル一覧	41
6.2 起動・終了時のトラブル	42
6.3 ハードウェア関連のトラブル	43
7 仕様一覧	49
RemoteAccessカード AWI 設定記録シート	50

はじめに

このたびは弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルは、本コンピュータに搭載されている RemoteAccess カードに関する設定方法や注意事項について説明します。

お使いになる前に、このマニュアル、およびコンピュータ本体、接続に使用するゼロクライアント、シンクライアントのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

本書の表記

本書の内容は 2015 年 8 月現在のものです。お問い合わせ先や URL などに変更されている場合は、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】 + 【F3】キー、【Shift】 + 【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリックし、「デバイスマネージャー」をクリックする操作

↓

「システムとセキュリティ」→「システム」の「デバイスマネージャー」の順にクリックします。

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
RemoteAccessカード	本カード	
Teradici PCoIP Host Software	PCoIP Host Software	
Windows 8.1 Enterprise	Windows 8.1	Windows
Windows 8.1 Pro		
Windows 7 Enterprise	Windows 7	
Windows 7 Professional		

Windowsの操作

■ アプリ画面（Windows 8.1）

インストールされている、すべてのプログラムを表示させる画面です。
次の操作で表示することができます。

- 1 スタート画面左下のをクリックします。

■ 「コントロールパネル」 ウィンドウ

「コントロールパネル」ウィンドウの開き方が、Windows 8.1とWindows 7で異なります。
次の手順で「コントロールパネル」ウィンドウを表示させてください。

□ Windows 8.1の場合

- 1 **【Windows】 + 【X】** キーを押し、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

POINT

- ▶ 次の操作でも表示することができます。
 - ・ アプリ画面（→P.4）から表示する場合
 1. 「Windows システム ツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
 - ・ 「スタートボタン」から表示する場合
 1. 画面左下隅の「スタートボタン」を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせるとWindowsのマークが表示されます。

□ Windows 7の場合

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

■ ユーザーアカウント制御

本書で説明しているWindowsの操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前にWindowsが表示しているものです。表示されるメッセージに従って操作してください。

商標および著作権について

TeradiciおよびPCoIPは、米国およびその他の地域におけるTeradici Corporationの登録商標です。
VMwareおよびVMware Viewは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

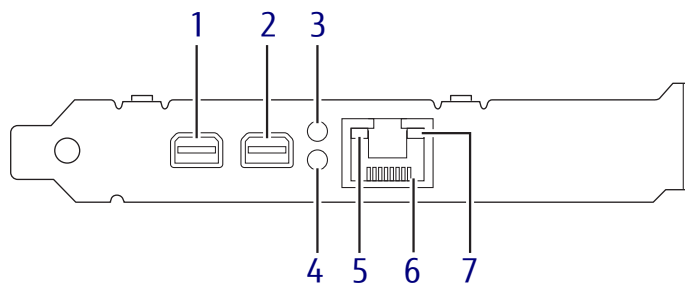
Copyright FUJITSU LIMITED 2015

1 RemoteAccessカードとは

RemoteAccessカードとはコンピューター本体と離れた場所をネットワークで接続し、コンピューターをGUIで利用可能とするカードです。

RemoteAccessカードをご利用になるには、ゼロクライアントやシンクライアントなどを別途で用意ください。

1.1 各部名称



1 miniDP 2 コネクタ

2 miniDP 1 コネクタ

3 PCoIPセッションLED

クライアント接続時、緑色に点灯します。

4 ハートビートLED

本カードが正常に動作しているとき、赤色に点滅します。

5 Link LED

LANのLink時、オレンジ色に点灯します。

6 LANコネクタ

POINT

- ▶ 本カードのLANコネクタからケーブルが引き抜きにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用し、コネクタのツメを押し下げてください。
このとき、LANケーブルを傷付けないように注意してください。

7 Act LED

Tx/Rxデータの送受信時、緑色に点滅します。

2 RemoteAccessカードのセットアップ

ここでは本カードを使用するためのセットアップを説明します。
コンピューター本体のセットアップが完了した後に本カードのセットアップを行ってください。
ネットワークの設定を完了した後に、グラフィックスカードのディスプレイコネクタと本カードを接続してください。

重要

- ▶ 本カードの詳細設定は、カードのLANコネクタ経由で行います。
ネットワーク環境の準備が必要になります。
- ▶ 本カードは設定をカードの外（コンピューター）にファイルとして保管・復元する機能はありません。
セットアップ時の変更は個別に記録（→P.50）してください。

2.1 ネットワーク設定

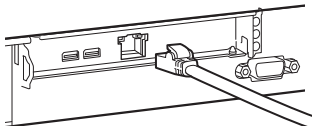
お使いになるネットワークのIPアドレスの運用によって設定手順が異なります。

- 「DHCPをご使用の場合（ご購入時の設定）」（→P.7）
- 「固定IPアドレスの場合」（→P.8）

■ DHCPをご使用の場合（ご購入時の設定）

DHCPでIPアドレスが割り当てられている場合は、次の手順でIPアドレスを確認してください。

- 1 本カードのLANコネクタに、LANケーブルを接続します。
DHCPが有効なネットワークに接続してください。



- 2 コンピューターを起動します。
- 3 「MACアドレス（物理アドレス）」／「IPアドレス」を確認します。
コンピューターにインストールされている「PCoIP Host Software」を使用して「MACアドレス／IPアドレス」を確認してください。
詳しくは、「3.3 Network（ネットワーク）」（→P.14）をご覧ください。

POINT

- ▶ DHCPサーバーが存在しない場合はコンピューター起動3分後に、「192.168.1.100」のIPアドレスが自動で割り当てられます。IPアドレスの重複にご注意ください。

■ 固定IPアドレスの場合

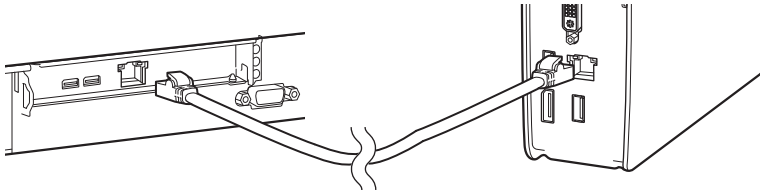
IPアドレスを本カードに設定します。

初期設定はDHCP（自動割り当て）のため、次の手順でIPアドレスを設定してください。

重要

- ▶ 本カードのネットワーク設定は本カードを搭載したコンピューターから直接設定できません。ネットワーク経由で設定します。

1 本カードと他のコンピューターをLANケーブルで接続してください。



POINT

- ▶ セットアップ中は、独立したネットワークで設定を行ってください。
本カードを同時に運用中のネットワークで設定を行うとIPアドレスの重複が発生する場合があります。
推奨環境：本カードと他のコンピューターのみ接続されたEthernet-HUB環境

2 本カードを搭載したコンピューターを起動します。

コンピューター起動3分後に、「192.168.1.100」のIPアドレスが自動で割り当てられます。

PCoIP Host Softwareで確認することができます（→P.14）。

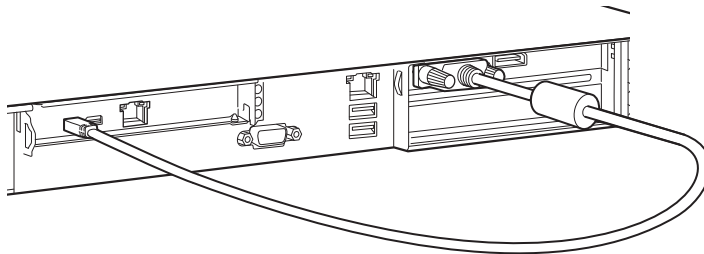
3 本カードに個別のIPアドレスをEthernet経由で設定します。

他のコンピューターから本カードの管理インターフェース（Administrator Web Interface）にログインし、「5.3 Configuration」の「■ Initial Setup」（→P.23）でIPアドレスの設定を行ってください。

管理インターフェースについては、「4 Administrator Web Interface」（→P.18）をご覧ください。

2.2 グラフィックスインターフェースの接続

- 1 コンピューターのディスプレイコネクタと、本カードのディスプレイコネクタを接続します。



リモートで接続するクライアント側のディスプレイに合わせて接続してください。

☐ クライアント側のディスプレイを1台で使用する場合

接続 パターン	グラフィックス カード		RemoteAccess カード	ゼロクライアント
1	DVI-Iコネクタ	⇒	Mini DisplayPort コネクタ2 ^注	DVIコネクタ2
2	DisplayPortコネクタ	⇒	Mini DisplayPort コネクタ2 ^注	DVIコネクタ2

注：Mini DisplayPortコネクタ1を使用した場合、リモート側のゼロクライアント側でアナログディスプレイを接続すると、画面表示がされないことがあります。

☐ クライアント側のディスプレイをマルチディスプレイで使用する場合

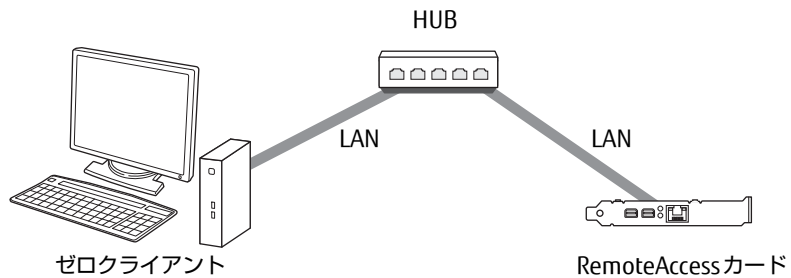
接続 パターン	グラフィックス カード ^注		RemoteAccess カード	ゼロクライアント
	プライマリ出力コネクタ	⇒	Mini DisplayPort コネクタ1	DVIコネクタ1
	セカンダリ出力コネクタ	⇒	Mini DisplayPort コネクタ2	DVIコネクタ2

注：グラフィックスカードによって画面出力の優先順位が異なります。
OS／ドライバの設定によって画面出力の優先順位が変更されている場合があります。
コンピューター本体のマニュアル『製品ガイド』の「マルチディスプレイ機能」をご覧ください。

2.3 システム構成の参考例

本カードを使用したシステム構成

- 最小構成：IPアドレスは同一セグメント、1対1接続



3 PColP Host Software

PColP Host Softwareは本カードの状態の監視、簡易の画像転送品質を設定するユーティリティです。

ここでは、PColP Host Softwareの使用方法について説明しています。

PColP Host Softwareは通常、実行する必要はありません。ネットワークの状態の確認など必要に応じて起動してください。

POINT

- ▶ RemoteAccessカードを選択した場合は、ご購入時にPColP Host Softwareがインストールされています。
誤って削除（アンインストール）してしまった場合は、ドライバズディスクにあるReadmej.txtをご覧ください、再インストールしてください。

3.1 PColP Host Softwareを起動する

1 次の操作を行います。

●Windows8.1の場合

1. アプリ画面（→P.4）を表示し、「Teradici」→「PColP Host Software」をクリックします。

●Windows7の場合

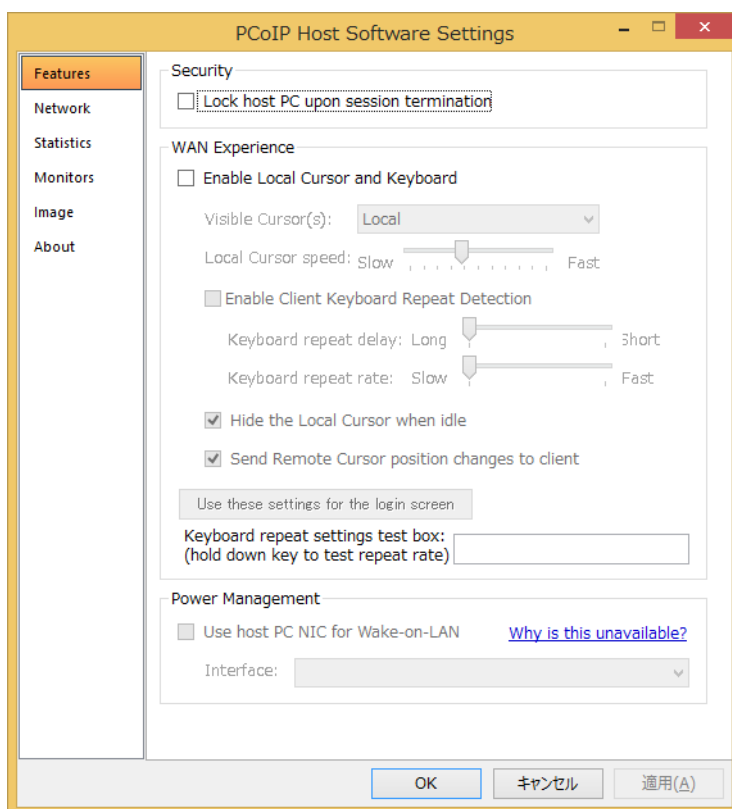
1. 「スタート」ボタン→「すべてのソフトウェア」→「Teradici」→「PColP Host Software」の順にクリックします。

「PColP Host Software Settings」が表示されます。

3.2 インターフェース (Features)

インターフェースの機能を設定します。

設定の変更後に「適用」ボタンをクリックすると設定変更が有効になります。



☐ Security

Lock host PC upon session termination (接続をロックする)	チェックを付けると、コンピューターとクライアントとの接続中に他のクライアントからの接続を拒否します。
---	--

☐ WAN Experience

キーボード／マウスの動作について設定します。

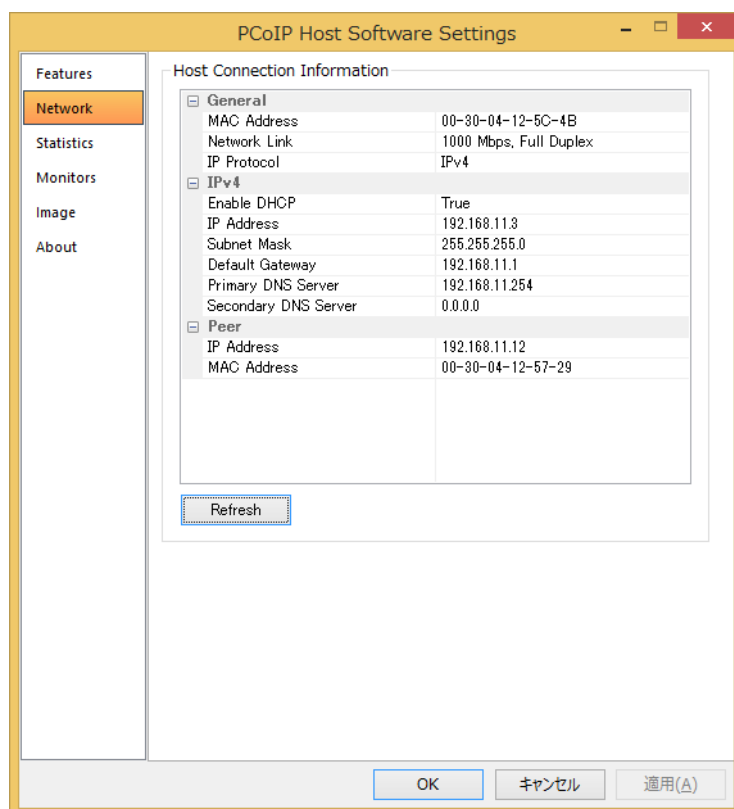
Enable Local Cursor and Keyboard (ローカル カーソルとキーボード設定)		チェックを付けると「WAN Experience」の設定が変更できます。
Visible Cursor(S)		カーソル表示の設定を変更します。
Local		本カードを搭載したコンピュータのカーソルを表示します。(初期値)
Remote		クライアント側のカーソルを表示します。(推奨値)
Local and Remote		コンピュータ／クライアント双方のカーソルを表示します。 カーソルを動かすとLocal、Remoteの2つを表示されますが、停止するとカーソル位置は1つになります。
Local Cursor speed		・ Slow : マウスの移動量に対しカーソルの移動量が少なくなる。 ・ Fast : マウスの移動量に対しカーソルの移動量が多くなる。
Enable Client Keyboard Repeat Detection		チェックを付けると、キーボード入力のリピート設定が変更できます。
Keyboard repeat delay		キーボードリピート開始を調整します。 ・ Long : リピート開始が遅くなる。 ・ Short : リピート開始が早くなる。
Keyboard repeat rate		キーボードリピートの速度を調整します。 ・ Slow : ゆっくりリピートする。 ・ Fast : 速くリピートする。
Hide the Local Cursor when idle (アイドル時のローカルカーソル表示設定)		チェックを付けると、アイドル時コンピュータのカーソルを隠します。
Send Remote Cursor position changes to Client (ローカルのマウス位置をクライアント側に通知)		チェックを付けると、コンピュータのマウスカーソル位置をクライアント側に送信します。

☐ Power Management

Use host PC NIC for Wake-on-LAN (コンピュータのオンボードLANでのWoL)		チェックを付けると、コンピュータ側のオンボードLANでWakeup on LANが有効になります。
Interface		WoLで使用するLANを選択します。

3.3 Network (ネットワーク)

本カードのネットワーク状態を表示します。
ネットワーク設定はできません。ネットワーク設定は「Administrator Web Interface」で行ってください。

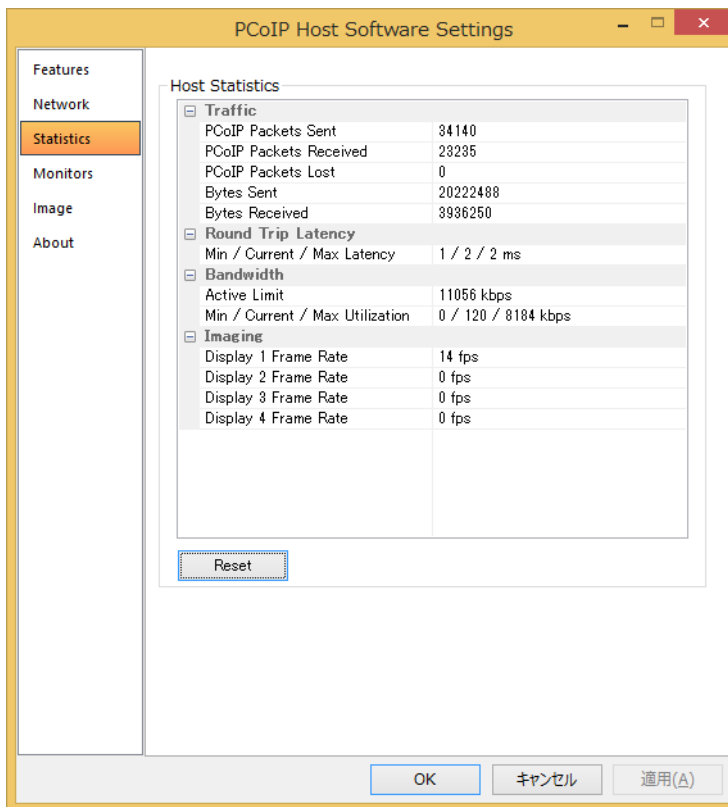


☐ Host Connection Information (ネットワーク情報)

General	本カードのMACアドレスおよび、Link状態、使用中のIPプロトコルを表示します。
IPv4	IPプロトコルの設定状態を表示します。
Peer	接続中のクライアントのIPアドレスとMACアドレスを表示します。

3.4 Statistics (統計)

本カードとクライアント接続状態の統計を表示します。
設定はできません。設定は「Administrator Web Interface」で行ってください。

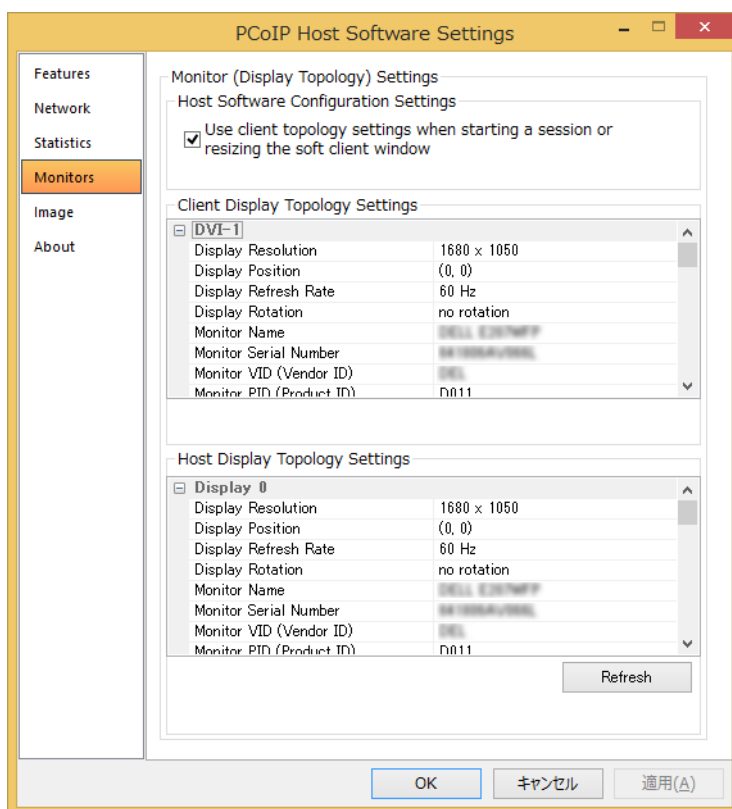


☐ Host Statistics (カード統計情報)

クライアントと接続してからの統計情報を表示します。
クライアントとの接続が切れると、値はリセットされます。
「Reset」ボタンをクリックしても、値をリセットすることができます。

3.5 Monitors (モニター)

本カードがエミュレートしているディスプレイ情報とクライアント側に接続されたディスプレイ情報を表示します。



☐ Monitor (Display Topology) Settings (ディスプレイ接続の情報)

Host Software Configuration Settings (初期値：有効)		
	Use client topology settings when starting a session or resizing the soft client window	チェックを付けると、コンピューターやシンクライアントのソフトクライアントでのWindows表示サイズに合わせ、サイズを変更します。
Client Display Topology Settings (クライアント側のディスプレイ情報)		クライアントに接続されたディスプレイの情報を表示します。
Host Display Topology Settings (本カード側でのモニタエミュレーション)		本カードがグラフィックスコントローラに返すディスプレイ情報を表示します。
「Refresh」ボタン		ディスプレイ情報を更新します。

3.6 Image（画像品質）

画面表示の品質を変更します。



- ▶ 「Administrator Web Interface」の設定で「■ Image」（→P.31）にある、「Use Client Image Setting」が無効の場合は変更できません。

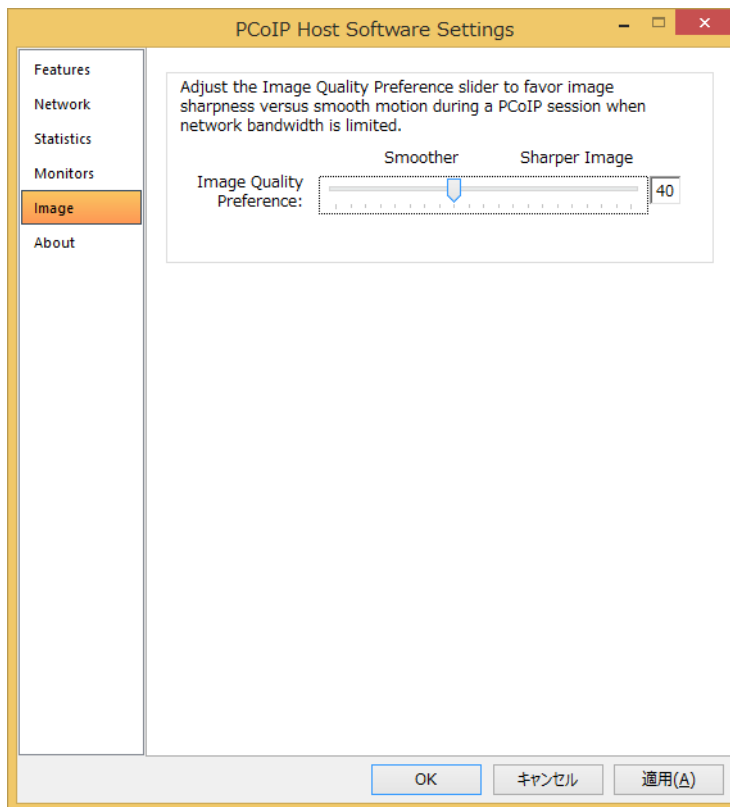


Image Quality Preference (イメージ画質選択)	
左：Smoother（スムーズ）	画面表示がスムーズになりますが、書き換えが遅くなります。 (フレームレートが下がります。)
右：Sharper Image	画面表示が早くなりますが、動画などの再生は画質が下がります。 (フレームレートが上がります。)

4 Administrator Web Interface

Administrator Web Interface（以後、AWI）は、本カードの設定をネットワーク経由で行う管理インターフェースです。

ここでは、AWIの使用方法について説明しています。

重要

- ▶ AWIはネットワークからアクセスして使用します。ネットワーク環境を用意してください。
- ▶ 本カードは設定をカードの外（コンピューター）にファイルとして保管・復元する機能はありません。
セットアップ時の変更は個別に記録（→P.50）してください。

4.1 環境設定

次の環境が必要です。

- ネットワーク環境
LANケーブルやHUBなど
- Webブラウザが動作するコンピューター
WebブラウザはInternet Explorer10以降を使用してください。

4.2 ログイン

- 1 本カードを搭載したコンピューターを起動します。
- 2 本カードのIPアドレスを確認します。
IPアドレスの確認については、「3.3 Network（ネットワーク）」（→P.14）をご覧ください。
- 3 本カードが接続されたネットワーク上にあるコンピューターの、Webブラウザを起動します。
- 4 Webブラウザに確認したIPアドレスを入力します。
※DNSによるFQDNも使用できます。
AWIのログイン画面が表示されます。

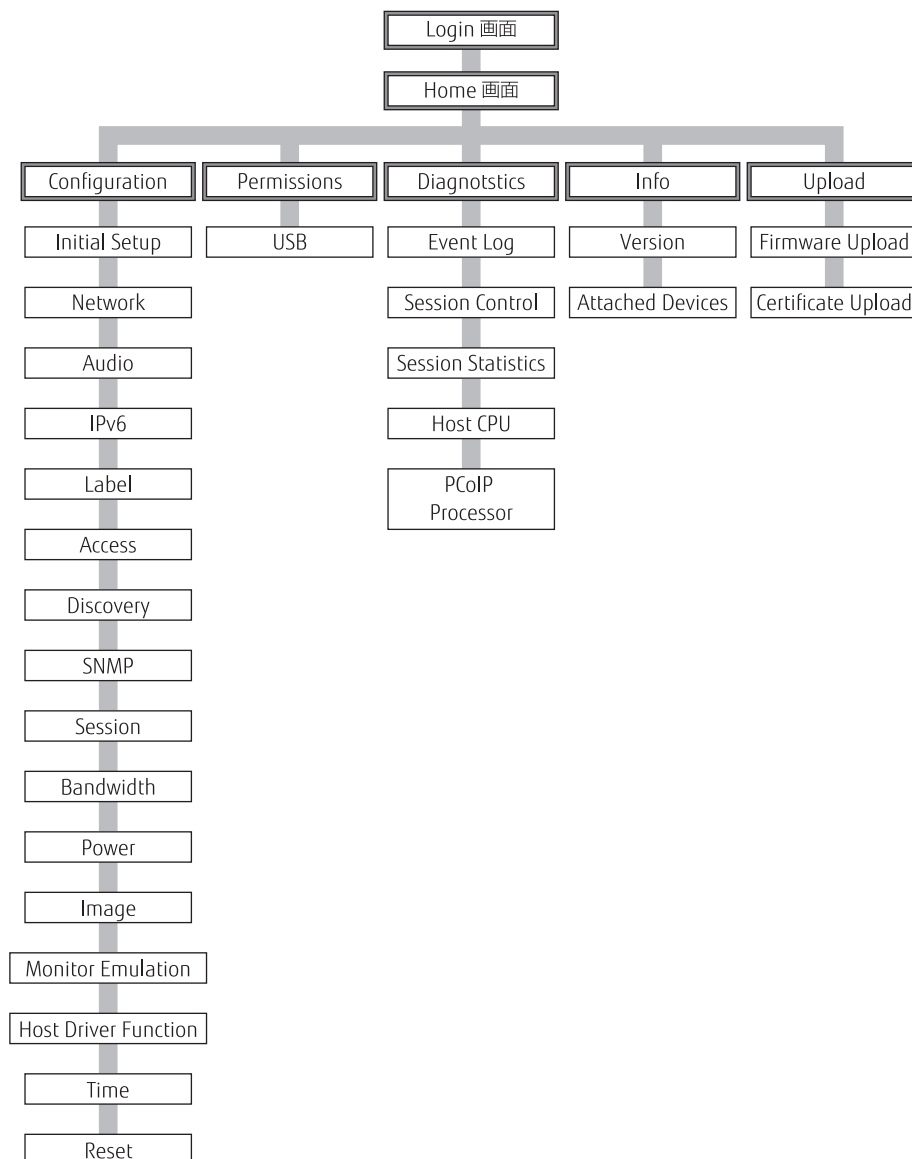
重要

- ▶ 本カードはhttpsプロトコルで接続するため、証明書の警告が表示されますが、そのままアクセスを継続してください。
- ▶ 証明書（PEMファイル）が必要な場合は、teradiciサポートサイト（<http://www.teradici.com>）から、最新の証明書をダウンロードしてください。

- 5 各メニューの設定を変更します。
設定変更後にPCoIP Processorの「Reset」リセットボタンが表示された場合は、「Reset」ボタンを押した後コンピューターの再起動が必要です。
- 6 設定を変更したら、コンピューターを再起動します。
再起動後、設定が反映されます。

4.3 AWIのメニュー構成

AWIは、次のようなメニュー構成となっています。



5 AWIメニュー詳細

AWIのメニュー項目について説明します。

5.1 Login画面



設定項目	初期値	備考
Idle Timeout	Never	指定した無操作時間を過ぎるとログアウトする。

5.2 Home画面

PCoIP® Host Card				
PCoIP® device status and statistics for the current session.				
Processor: TERA2220 revision 1.0 (512 MB)				
Time Since Boot: 0 Days 0 Hours 49 Minutes 15 Seconds				
PCoIP Device Name:				
Connection State: Connected to TERA2321 client 192.168.11.12				
Connection Duration: 0 Days 0 Hours 34 Minutes 13 Seconds				
802.1X Authentication Status: Disabled				
Session Encryption Type: AES-256-GCM				
PCoIP Packets (Sent/Received/Lost): 716247 / 675422 / 17746 (2.5 %)				
Bytes (Sent/Received): 488676274 / 189515172				
Round Trip Latency (Min/Avg/Max): 1 / 2 / 3 ms				
Transmit Bandwidth (Min/Avg/Max/Limit): 48 / 1800 / 20504 / 45783 kbps				
Receive Bandwidth (Min/Avg/Max): 0 / 728 / 1320 kbps				
Pipeline Processing Rate (Avg/Max): 0 / 19 Mpps				
Endpoint Image Settings In Use: Client				
Initial Image Quality (Min/Active/Max): 40 / 90 / 90				
Image Quality Preference: 50				
Build To Lossless: Enabled				
Display	Maximum Rate:	Input Change Rate	Output Process Rate	Image Quality
1	60 fps	0 fps	0 fps	Lossless
2	N/A	N/A	N/A	N/A

設定項目	初期値	備考
Processor	—	本カードのプロセッサが表示される。
Time Since Boot	—	コンピュータの起動時間が表示される。
PCoIP Device Name	—	コンピュータの名称が表示される。 本設定は「5.3 Configuration」の「 ☐ Label」(→P.26) で変更可能。
Connection State	—	現在コンピュータがリモート接続しているかどうかが表示される。
802.1X Authentication Status	—	本カードではサポートしていません。
Session Encryption Type	—	セッションがアクティブ時に使用される暗号化のタイプが表示される。
PCoIP Packets (Sent/Received/Lost)	—	・ Sent : 現在／最後のセッションで送信されたPCoIPパケットの総数。 ・ Received : 現在／最後のセッションで受信されたPCoIPパケットの総数。 ・ Lost : 現在／最後のセッションで消失されたPCoIPパケットの総数。
Bytes (Sent/Received)	—	・ Bytes Sent : 現在／最後のセッションで送信されたバイトの総数。 ・ Bytes Received : 現在／最後のセッションで受信されたバイトの総数。
Round Trip Latency (Min/Avg/Max)	—	コンピュータとネットワーク（接続先）の往復遅延の最小値／平均値／最大値が表示される。単位はミリ秒。 値が大きいくほど、遅延が大きいく（＝回線品質が悪い）。
Transmit Bandwidth (Min/Avg/Max/Limit)	—	コンピュータから送信された最小／平均／最大トラフィックが表示される。Limit 値はコンピュータが生成する可能性のあるネットワークトラフィックの最大量となる。 この値は、設定された帯域幅パラメーターと現在（または最後）のネットワークの混雑レベルから抽出される。
Receive Bandwidth (Min/Avg/Max)	—	コンピュータが受信した最小／平均／最大トラフィックが表示される。
Pipeline Processing Rate (Avg/Max)	—	コンピュータの画像処理エンジンが処理している情報量が表示される。 単位はメガピクセル数／秒。
Endpoint Image Settings In Use	—	使用されているイメージ（画質）設定がコンピュータ側で設定されたのか、ホストで設定されたのかが表示される。 この項目の値は、ホスト側がどのように設定されているかに基づく。
Initial Image Quality (Min/Active/Max)	—	最低品質しきい値と最高品質しきい値。 「5.3 Configuration」の「 ☐ Image」(→P.31) の値が表示される。

設定項目	初期値	備考
Display	—	ディスプレイポート番号
Maximum Rate	—	接続されたディスプレイのリフレッシュレートが表示される。 ただし、「5.3 Configuration」の「■ Image」(→P.31)で、リフレッシュレートを強制指定している場合は、「Image」の値が表示される。
Output Process Rate	—	現在コンピューターに送られている情報のリフレッシュレートが表示される。 帯域が不足した場合やホスト側でリフレッシュレート制限を加えている場合、この値が低下する。
Image Quality	—	現在ディスプレイに出力されている映像のモード（可逆圧縮映像または非可逆圧縮映像）が表示される。 「5.3 Configuration」の「■ Image」(→P.31)でLossless設定にしても、帯域が不足する場合は強制的に非可逆設定が適用される場合がある。 ・ Lossy ・ Perceptually lossless ・ Lossless

5.3 Configuration

本カードの基本／拡張設定を行います。

■ Initial Setup

Initial Setup (1:1 Manual Configuration)

These settings must be configured before the device is used for the first time

Step 1: Audio

Enable HD Audio: ☒ Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the Client.

Enable Audio Line In: ☐ This will select the Line In input. If using Microsoft® Windows Vista® / Windows® 7, please ensure you do the following for this feature to function correctly:
1. Run regedit.
2. Search the registry keys for 'PinConfigOverrideVerbs' and delete these registry entries.

Step 2: Network

Enable DHCP: ☒

IP Address: 192.168.1.100

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.1.1

Primary DNS Server: 0.0.0.0

Secondary DNS Server: 0.0.0.0

Step 3: Session

Accept Any Client: ☒

Client MAC Address: 00-00-00-00-00-00

Step 4: Apply Changes

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable HD Audio	チェックあり	・ チェックあり：本カードのHD Audioを有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Enable Audio Line In	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Enable DHCP	チェックあり	・ チェックあり：DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx	・ IPアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ DHCPサーバーによって割り振られた値が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Subnet Mask	xxx.xxx.xxx.xxx	・ サブネットマスクを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ DHCPサーバーによって割り振られた値が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Gateway	xxx.xxx.xxx.xxx	・ ゲートウェイアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ DHCPサーバーによって割り振られた値が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Primary DNS Server	xxx.xxx.xxx.xxx	・ プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定する。 ・ DHCPサーバーによって割り振られた値が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Secondary DNS Server	xxx.xxx.xxx.xxx	・ セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定する。 ・ DHCPサーバーによって割り振られた値が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Accept Any Client		複数のクライアントから、本カードへのアクセスを受け付ける。
Client MAC Address		本項目に設定したMACアドレスのクライアントからのみ、接続を許可。

注：本項目は設定を変更しないでください。

Network

Network

Change the network settings for the device

Enable DHCP: ☒

IP Address: 192.168.1.100

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.1.1

Primary DNS Server: 0.0.0.0

Secondary DNS Server: 0.0.0.0

Domain Name:

FQDN:

Ethernet Mode: Auto

Enable Gigabit Auto-Negotiation: ☒

Prefer Master for Auto-Negotiation: ☐

Maximum MTU Size: 1200 bytes

Enable 802.1X Security: ☐

Authentication: TLS

Identity:

Client Certificate: Choose

Enable 802.1X Support for Legacy Switches: ☒

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable DHCP	チェックあり	・ チェックあり：DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx	・ IPアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Subnet Mask	xxx.xxx.xxx.xxx	・ サブネットマスクを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Gateway	xxx.xxx.xxx.xxx	・ ゲートウェイアドレスを指定する。 DHCPを無効にした場合、本項目の入力は必須。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Primary DNS Server	0.0.0.0	・ プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定する。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Secondary DNS Server	0.0.0.0	・ セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定する。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Domain Name	(空欄)	・ カードまたはクライアントのドメイン名を入力する。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
FQDN	(空欄)	・ 完全修飾ドメイン名が表示される。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付けた場合は、設定不可。
Ethernet Mode	Auto	LANポートの通信速度を指定する。「Auto」、「100Mbps Full-Duplex」、「10Mbps Full-Duplex」が指定可能。
Maximum MTU Size	1200	最大転送単位パケットサイズを設定する。 PCoIPパケットはフラグメント化することができないため、VPNトンネリングなどの状況では、MTUを小さくする必要がある。 ホストとクライアント間のエンドツーエンド接続では、Maximum MTU SizeをネットワークパスMTUよりも小さな値に設定する。 #VMware ViewのデフォルトMTUは1300。
Enable 802.1X Security	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Authentication	TLS	本カードではサポートしていません。 ^注
Identity		本カードではサポートしていません。 ^注
Client Certificate		本カードではサポートしていません。 ^注
Enable 802.1X Support for Legacy Switches	チェックあり	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ Audio

Audio
Change audio settings

Enable Audio: ☒ Note: To enable audio, please ensure that audio is also enabled on the Client.

Enable Audio Line In: ☐ This will select the Line In input. If using Microsoft® Windows Vista®/7/8, please ensure you do the following for this feature to function correctly:
1. Run regedit.
2. Search the registry keys for "PinConfigOverrideVerbs" and delete these registry entries.

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable Audio	チェックあり	・ チェックあり：本カードのHD Audioを有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Enable Audio Line In	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ IPv6

IPv6
Change the IPv6 network settings for the device

Enable IPv6: ☐

Link Local Address:

Gateway:

Enable DHCPv6: ☒

DHCPv6 Addresses: / 64
 / 64
 / 64
 / 64

Primary DNS:

Secondary DNS:

Domain Name:

FQDN:

Enable SLAAC: ☒

SLAAC Addresses: / 64
 / 64
 / 64
 / 64

Enable Manual Address: ☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable IPv6	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Link Local Address	—	本カードではサポートしていません。 ^注
Gateway	(空欄)	本カードではサポートしていません。 ^注
Enable DHCPv6	チェックあり	本カードではサポートしていません。 ^注
Primary DNS	(空欄)	本カードではサポートしていません。 ^注
Secondary DNS	(空欄)	本カードではサポートしていません。 ^注
Domain Name	(空欄)	本カードではサポートしていません。 ^注
FQDN	—	本カードではサポートしていません。 ^注
Enable SLAAC	チェックあり	本カードではサポートしていません。 ^注
Enable Manual Address	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Manual Address	(空欄)	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ Label

Label

Change the PCoIP device labels

PCoIP Device Name:

Note: When DHCP is enabled the PCoIP Device Name is sent to the DHCP server as the requested hostname.

PCoIP Device Description:

Generic Tag:

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
PCoIP Device Name	(任意の文字列) pcoip-host-<MAC> または pcoip-portal-<MAC>	・ ホストまたはクライアントに付ける論理名。 ・ 「Enable DHCP」にチェックを付け、システムが DNS サーバーへのホスト名登録をサポートするよう設定されている場合に使用される。
PCoIP Device Description	(空欄)	デバイスの説明またはその他の情報を入力する。
Generic Tag	(空欄)	管理用の汎用タグ情報を入力する。

■ Access

管理インターフェースへのアクセスを設定します。

Access

Change administrative access settings

Disable Management Console Interface: ☐

Disable Administrative Web Interface: ☐

Force password change on next login: ☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Disable Management Console Interface	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Disable Administrative Web Interface	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注 本項目を変更すると、AWIにアクセスできなくなり、カードの設定を変更することができなくなります。その場合は、保証期間中でも有償修理となります。
Force password change on next login	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注

注 : 本項目は設定を変更しないでください。

■ Discovery

Discovery
Automatically discover other PCoIP devices
Enable SLP Discovery: ☒
Enable DNS SRV Discovery: ☒
DNS SRV Discovery Delay: seconds

設定項目	初期値	備考
Enable SLP Discovery	チェックあり	本カードでは設定の変更をサポートしていません。 ^注
Enable DNS SRV Discovery	チェックあり	本カードでは設定の変更をサポートしていません。 ^注
DNS SRV Discovery Delay	300	本カードでは設定の変更をサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ SNMP

SNMP
Change the SNMP configuration
Enable SNMP: ☒
Community Name:

設定項目	初期値	備考
Enable SNMP	チェックあり	SNMPを使用しない場合は、チェックを外してください。
Community Name	Public	SNMPのコミュニティ名を入力します。

■ Session

接続先の設定をします。

Session
Configure the connection to a device

Session Connection Type: Direct from Client

Show Advanced Options

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Session Connection Type	Direct from Client	接続する方式を選択する。 ・ Direct from Client ・ Connection Management Interface (※ サポートしていません。使用しないでください。)

☐ Direct from Client

Session
Configure the connection to a device

Session Connection Type: Direct from Client

Hide Advanced Options

Accept Any Peer: ☒

Peer MAC Address: 00-00-00-00-00-00

Session Negotiation Cipher: Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption

Enabled Session Ciphers:

AES-256-GCM: ☒

AES-128-GCM: ☒

Enable DSCP: ☐

Enable Congestion Notification: ☒

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Accept Any Peer	チェックあり	・ チェックあり： 接続クライアントを指定しない。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Peer MAC Address	00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00	・ 接続クライアントの MAC アドレスを指定する。 ・ 「Accept Any Peer」のチェックを外すと入力できる。
Session Negotiation Cipher	Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption	セッションのネゴシエートで使用する暗号を指定する。
Enabled Session Ciphers AES-256-GCM	チェックあり	・ チェックあり： AES 256bit GCM (Galois/Counter Mode) の認証付暗号キーを有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Enabled Session Ciphers AES-128-GCM	チェックあり	・ チェックあり： AES 128bit GCM (Galois/Counter Mode) の認証付暗号キーを有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Enable DSCP	チェックなし	・ チェックあり： パケットの優先度 DSCP (Differentiated Services Code Point) を有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。
Enable Congestion Notification	チェックあり	・ チェックあり： 輻輳 (ふくそう) 通知を有効にする。 ・ チェックなし：設定を無効にする。

□ Connection Management Interface

本カードではサポートしていません。設定の変更はしないでください。

Session

Configure the connection to a device

Session Connection Type: Connection Management Interface

DNS Name or IP Address:

Hide Advanced Options

Accept Any Peer: ☒

Peer MAC Address: 00-00-00-00-00-00

Session Negotiation Cipher: Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption

Enabled Session Ciphers:

AES-256-GCM: ☒

AES-128-GCM: ☒

Enable DSCP: ☐

Enable Congestion Notification: ☒

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
DNS Name or IP Address		本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Accept Any Peer	チェックあり	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Peer MAC Address	00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Session Negotiation Cipher	Maximum Compatibility: TLS 1.0 with RSA keys and AES-256 or AES-128 encryption	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Enabled Session Ciphers AES-256-GCM	チェックあり	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Enabled Session Ciphers AES-128-GCM	チェックあり	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Enable DSCP	チェックなし	本カードではサポートしていません。使用しないでください。
Enable Congestion Notification	チェックあり	本カードではサポートしていません。使用しないでください。

■ Bandwidth

通信帯域の設定を行います。

Bandwidth
Configure the device bandwidth limit, target and floor

Device Bandwidth Limit: kbps (0 = no limit)

Device Bandwidth Target: kbps (0 = disabled)

Device Bandwidth Floor: kbps (0 = use default of 1000 kbps)

設定項目	初期値	備考
Device Bandwidth Limit	0	最大帯域幅ピークを入力する。 この設定によって、コンピューターからホストへの上限帯域幅（USB データ など）が定義される。デバイス帯域幅の有効範囲は 1000～220000 Kbps。PCoIP は、ネットワークの混雑に応じて帯域幅を動的に調整する。この値を 0 に設定した場合は、そのときにネットワーク上で利用可能な最大速度を使用するよう設定される。
Device Bandwidth Target	0	ネットワーク帯域が混雑したときに、一時的に「目標」とする帯域幅を入力する。ホストまたはコンピューターがパケット損失を検出すると、デバイス帯域幅をこの制限値を「目標」にして急激に制限する。その後、この目標帯域すら維持できない場合は、緩やかに帯域を狭める。 これにより、混雑したネットワークリンクを共有しているユーザー間の帯域幅がより均等に分散される。
Device Bandwidth Floor	0	混雑が発生して帯域幅制限が必要になった場合の最小帯域幅を入力する。コンピューターでは、この設定で最小帯域幅（USB データなど）を定義する。なお、0 に設定した場合は、ネットワーク障害が発生したら 1000 Kbps まで帯域幅を下げるよう自動設定する。

■ Power

電源動作の設定を行います。

Power
Change the power settings

Host Wake Option:

Enable Wake-on-LAN: ☒

設定項目	初期値	備考
Host Wake Option	PCIe Wake Input	本カードによるコンピューターの電源 ON 方法を指定する。 ^注
Enable Wake-on-LAN	チェックあり	・ チェックあり： 本カードに対する、Wake up on LAN（省電力状態からのレジューム）を有効にする ・ チェックなし：設定を無効にする。

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ Image

Image

Adjust the image quality.

A lower minimum image quality will allow a higher frame rate when network bandwidth is limited.

Use Client Image Settings: ☒

Minimum Image Quality:

Maximum Initial Image Quality:

Maximum Frame Rate: fps (0 = no limit)

Disable Build To Lossless: ☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Use Client Image Settings	チェックあり	・チェックあり：転送品質をクライアントの設定で行う。 ・チェックなし：本カードで設定を固定する。 「Minimum Image Quality」、「Maximum Initial Image Quality」にスライダーが表示される。
Minimum Image Quality	40	ネットワーク帯域幅が制限されるような状況下における、イメージ品質とフレームレートのバランスを設定する。 ・スライダーを「Reduced」側に移動すると、画質を犠牲にして高いフレームレートを確保し、「Perception-Free」側に移動すると、画質を優先する。 なお、帯域が充分にある、または設定で制限されていない環境では、「Minimum Image Quality」パラメーターに関係なく、PCoIPが自動で問題のない品質を維持する。
Maximum Initial Image Quality	90	画面表示（書き換え）をはじめるときの、最初の表示フレームの品質を指定する。 ・スライダーを「Reduced」側に移動すると、画質を犠牲にしてフレームレートを重視し、「Perception-Free」側に移動すると、画質を優先する。 なお、イメージの無変化領域は、このパラメーターに関係なく、ロスレス状態が維持される
Maximum Frame Rate	0	最大フレームレートを制限する。
Disable Build To Lossless	チェックなし	PCoIPでは、画面に変化がない場合も、ロスレス（劣化なし）画像になるまで画面の書き換えを続ける。 ・チェックあり： - 本機能を無効にする（画面が静止した状態でも劣化したままの画質になる）。 ・チェックなし：本機能を有効にする。 ※ユーザーが重要な機能を実行するために最適なイメージ品質を必要としないといとゼロクライアント管理者が判断した場合を除いて、このチェックは付けないこと。この決定はゼロクライアント管理者独自の責任となる。

■ Monitor Emulation

Monitor Emulation

With monitor emulation disabled, the host will only respond to display data channel queries when in a session. With monitor emulation enabled, the host will **always** respond to display data channel queries. This feature is applicable on the host only.

Enable Monitor Emulation:

on Video Port 1: ☒

on Video Port 2: ☒

on Video Port 3: ☐

on Video Port 4: ☐

Monitor Emulation Options

Enable Host Hot-Plug Delay: ☐

Enable Accelerated Monitor Emulation: ☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable Monitor Emulation on Video Port 1	チェックあり	・ チェックあり：いつでもチャンネル照会に応じる。 ・ チェックなし：クライアントからのチャンネル照会が来たときだけ応じる。
Enable Monitor Emulation on Video Port 2	チェックあり	・ チェックあり：いつでもチャンネル照会に応じる。 ・ チェックなし：クライアントからのチャンネル照会が来たときだけ応じる。
Enable Monitor Emulation on Video Port 3	チェックなし	・ チェックあり：いつでもチャンネル照会に応じる。 ・ チェックなし：クライアントからのチャンネル照会が来たときだけ応じる。
Enable Monitor Emulation on Video Port 4	チェックなし	・ チェックあり：いつでもチャンネル照会に応じる。 ・ チェックなし：クライアントからのチャンネル照会が来たときだけ応じる。
Enable Host Hot-Plug Delay	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注
Enable Accelerated Monitor Emulation	チェックなし	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ Host Driver Function

Host Driver Function

Enable or disable the host driver function

Enable Host Driver Function: ☒

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Enable Host Driver Function	チェックあり	・ チェックあり：本カードとコンピューターの設定情報を有効にするインターフェースを有効にする。 (PCoIP Host Softwareのインストールに必要) VMware Horizon ViewなどのPC向けソフトウェアで接続する場合は必須。 ・ チェックなし：設定を無効にする。

■ Time

Time
Change the local time configuration

Current time:

Enable NTP: ☐

Identify NTP Host by: ☒ IP address ☐ FQDN

NTP Host IP Address:

NTP Host Port:

NTP Query Interval: Day(s) ▼

Time Zone:

Enable Daylight Saving Time: ☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Current time	—	NTPサーバーの値を元に、現在時刻が表示される。
Enable NTP	チェックなし	NTPサーバーとの同期機能を有効にする。
Identify NTP Host by	IP address	NTPサーバーを、IPアドレスで識別するかFQDNで識別するか指定する。
NTP Host IP Address	(空欄)	Identify NTP Host byで指定した結果で入力が変わる。 ・ IPアドレスの場合はIPアドレスを入力 ・ IPアドレスの場合はDNS名を入力
NTP Host DNS Name		
NTP Host Port	123	NTPサーバーのポート番号を指定する。
NTP Query Interval	1	同期を試みる問い合わせの間隔を指定する。 ・ 単位：day(s)
Time Zone	(空欄)	ローカルタイムゾーンをGMTとの相対時間を指定する。
Enable Daylight Saving Time	チェックなし	夏時間の自動調節機能を有効にするか指定する。

■ Reset

Reset
Reset all configuration and permission settings stored on the device

Reset Parameters:

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考
Reset Parameters	—	本カードをご購入時の設定に初期化する。 「Reset」ボタンを押した後、画面に「SUCCESS」のメッセージが表示されたら、本カードを搭載したコンピューターを再起動すること。

5.4 Permissions

本カードに接続するデバイスのアクセス制限を設定します。

■ USB

USB

Configure the USB permissions table

Authorized Devices: Table is empty

Add new

Unauthorized Devices: Table is empty

Add new

Apply

Cancel

設定項目	初期値	備考
Authorized Devices	—	本カードではサポートしていません。 ^注
Unauthorized Devices	—	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

5.5 Diagnostics

本カードの各種診断を行います。

■ Event Log

Event Log

Configure diagnostic logging options

Enable Event Log: ☒

Event Log Messages: View Clear

Enable Syslog: ☐

Identify Syslog Host By: ☒ IP address ☐ FQDN

Syslog Host IP Address:

Syslog Host Port:

Syslog Facility:

Enhanced logging mode: Disable

Category	Enable enhanced logging
AUDIO	☐
MANAGEMENT CONSOLE	☐
NETWORKING	☐
ONESIGN	☐
SESSION NEGOTIATION	☐
SMARTCARD	☐
SYSTEM	☐
UNIFIED COMMUNICATIONS	☐
USB	☐
VIDEO	☐

Apply Cancel

設定項目	初期値	備考																				
Event Log Messages	—	・ View：イベントログを表示する。 ・ Clear：イベントログの内容をクリアする。																				
Enable Syslog	チェックなし	チェックを付けるとEvent Log を記録する。																				
Identify Syslog Host By	IP address	本項目は設定を変更しないでください。																				
Syslog Host IP Address	(空欄)	Event Log を取得する場合は、本カードのIPアドレスを入力する。																				
Syslog Host Port	514	本項目は設定を変更しないでください。																				
Syslog Facility	19	本項目は設定を変更しないでください。																				
Enhanced logging mode	Disable	拡張ロギングモードを有効にするには、目的のカテゴリのいずれか1つを選択する。「Disable」ボタンをクリックすることで無効になる。 拡張ロギング設定で拡張されるものは次のとおり。すべて無効となっている。 <table><tr><td>・ AUDIO</td><td>: AUDIO 関連のログ</td></tr><tr><td>・ MANAGEMENT CONSOLE</td><td>: サポートしていません。</td></tr><tr><td>・ NETWORKING</td><td>: ネットワーク関連のログ</td></tr><tr><td>・ ONESIGN</td><td>: サポートしていません。</td></tr><tr><td>・ SESSION NEGOTIATION</td><td>: PCoIPセッション関連のログ</td></tr><tr><td>・ SMARTCARD</td><td>: サポートしていません。</td></tr><tr><td>・ SYSTEM</td><td>: 本カード内部のログ</td></tr><tr><td>・ UNIFIED COMMUNICATIONS</td><td>: サポートしていません。</td></tr><tr><td>・ USB</td><td>: USB 関連のログ</td></tr><tr><td>・ VIDEO</td><td>: VIDEO 関連のログ</td></tr></table>	・ AUDIO	: AUDIO 関連のログ	・ MANAGEMENT CONSOLE	: サポートしていません。	・ NETWORKING	: ネットワーク関連のログ	・ ONESIGN	: サポートしていません。	・ SESSION NEGOTIATION	: PCoIPセッション関連のログ	・ SMARTCARD	: サポートしていません。	・ SYSTEM	: 本カード内部のログ	・ UNIFIED COMMUNICATIONS	: サポートしていません。	・ USB	: USB 関連のログ	・ VIDEO	: VIDEO 関連のログ
・ AUDIO	: AUDIO 関連のログ																					
・ MANAGEMENT CONSOLE	: サポートしていません。																					
・ NETWORKING	: ネットワーク関連のログ																					
・ ONESIGN	: サポートしていません。																					
・ SESSION NEGOTIATION	: PCoIPセッション関連のログ																					
・ SMARTCARD	: サポートしていません。																					
・ SYSTEM	: 本カード内部のログ																					
・ UNIFIED COMMUNICATIONS	: サポートしていません。																					
・ USB	: USB 関連のログ																					
・ VIDEO	: VIDEO 関連のログ																					

■ Session Control

接続状態をコントロールします。

Session Control
Control the device

Connection State: Connected to TERA2321 client 192.168.11.12

Connect Disconnect

Peer IP Address: 192.168.11.12

Peer MAC Address: 00-30-04-12-57-29

設定項目	初期値	備考
Connection State	—	現在のセッションの状態が表示される。 ・ Connect：セッションを接続する。 ・ Disconnect：セッションを切断する。 ※セッションの種類によっては、「Connect」ボタンが使用できないものもある。
Peer IP Address	—	接続しているクライアントのPeerのIPアドレスが表示される。
Peer MAC Address	—	接続しているクライアントのPeerのMACアドレスが表示される。

■ Session Statistics

接続状態の情報を表示します。

Session Statistics
View statistics for the current session

Connection State: Connected to TERA2321 client 192.168.11.12

Connection Duration: 0 Days 0 Hours 54 Minutes 46 Seconds

802.1X Authentication Status: Disabled

PCoIP Packets (Sent/Received/Lost): 2312071 / 1125890 / 17746 (1.5 %)

Bytes (Sent/Received): 2111250066 / 310782188

Round Trip Latency (Min/Avg/Max): 1 / 1 / 3 ms

Transmit Bandwidth (Min/Avg/Max/Limit): 48 / 10688 / 22976 / 54443 kbps

Receive Bandwidth (Min/Avg/Max): 0 / 784 / 1320 kbps

Pipeline Processing Rate (Avg/Max): 7 / 19 Mpps

Endpoint Image Settings In Use: Client

Initial Image Quality (Min/Active/Max): 40 / 90 / 90

Image Quality Preference: 50

Build To Lossless: Enabled

Reset Statistics

Display	Maximum Rate: Refresh Rate	Input Change Rate	Output Process Rate	Image Quality
1	60 fps	23 fps	24 fps	Lossy
2	N/A	N/A	N/A	N/A

設定項目	初期値	備考
Connection State	—	現在のセッションの状態が表示される。
802.1X Authentication Status	—	802.1X認証の有効／無効が表示される。
PCoIP Packets (Sent/Received/Lost)	—	・ PCoIP Packets Sent : 現在／最後のセッションで送信されたPCoIPパケットの総数。 ・ PCoIP Packets Received : 現在／最後のセッションで受信されたPCoIPパケットの総数。 ・ PCoIP Packets Lost : 現在／最後のセッションで消失されたPCoIPパケットの総数。
Bytes (Sent/Received)	—	送信・受信したバイト数が表示される。
Round Trip Latency (Min/Avg/Max)	—	PCoIPシステムとネットワークの往復遅延の最小値／平均値／最大値（単位：ミリ秒）が表示される。

設定項目	初期値	備考
Transmit Bandwidth (Min/Avg/Max/Limit)	—	コンピュータから送信された最小／平均／最大トラフィック。Limit値はコンピュータが生成する可能性のあるネットワークトラフィックの最大量である。この値は、設定された帯域幅パラメーターと現在（または最後）のネットワークの混雑レベルから抽出する。
Receive Bandwidth (Min/Avg/Max)	—	コンピュータが受信した最小／平均／最大トラフィック。
Pipeline Processing Rate (Avg/Max)	—	コンピュータの画像処理エンジンが処理している情報量。単位はメガピクセル数／秒。
Initial Image Quality (Min/Active/Max)	—	最低品質しきい値と最高品質しきい値。「5.3 Configuration」の「Image」(→P.31)の値が表示される。
Image Quality Preference	—	画質設定。「5.3 Configuration」の「Image」(→P.31)の値が表示される。
Build To Lossless	—	「5.3 Configuration」の「Image」(→P.31)の値が表示される。
Display	—	ディスプレイポート番号
Maximum Rate	—	接続されたディスプレイのリフレッシュレート。ただし、「5.3 Configuration」の「Image」(→P.31)で、リフレッシュレートを強制指定している場合は、「Image」の値が表示されます。
Output Process Rate	—	現在、コンピュータに送られている情報のリフレッシュレート。帯域が不足した場合やホスト側でリフレッシュレート制限を加えている場合、この値が低下する。
Image Quality	—	現在ディスプレイに出力されている映像のモード（可逆圧縮映像、非可逆圧縮映像か）が表示される。「5.3 Configuration」の「Image」(→P.31)でLossless設定にしても、帯域が不足する場合は強制的に非可逆設定が適用される場合がある。 ・ Lossy ・ Perceptually lossless ・ Lossless

■ Host CPU

Host CPU

View Identity, view and change power state (host only)

Host Identity:

Current Power State: S0 (On)

Change Power State: S5 (Soft Off)

設定項目	初期値	備考
Host Identity	—	
Current Power State	—	本カードが搭載されたコンピュータの現在の、電源状態が表示される。
Change Power State	—	本カードではサポートしていません。 ^注

注：本項目は設定を変更しないでください。

■ PCoIP Processor

PCoIP Processor

Reset the PCoIP device, view the time elapsed since boot

Current Time:

Time Since Boot: 0 Days 1 Hours 10 Minutes 47 Seconds

Reset PCoIP Processor:

設定項目	初期値	備考
Current Time	—	現在時刻が表示される（NTPの設定をしていない場合は表示されない）。
Time Since Boot	—	コンピューターの電源を入れてから稼働している時間が表示される。
Reset PCoIP Processor	—	「Reset」 ボタンをクリックすると、コンピューターをリセットする。

5.6 Info

本カードの情報を表示します。

■ Version

Version
View the hardware and firmware version information

MAC Address: 00-30-04-12-5C-4B
Unique Identifier:
Serial Number: L14110006383
Firmware Part Number: FW020005
Hardware Version: 6293E008120-C

Firmware Version: 4.7.1
Firmware Build ID: r4_7@17101
Firmware Build Date: Dec 17 2014 09:36:27

PCoIP Processor Family: Tera2
PCoIP Processor Revision: 1.0

Bootloader Version: 1.9.0
Bootloader Build ID: r4_7@16301
Bootloader Build Date: Jul 2 2014 14:40:47

設定項目	初期値	備考
MAC Address	—	本カードのMACアドレスが表示される。
Unique Identifier	—	本カードのシリアルナンバーが表示される。
Serial Number	—	本カードのシリアルナンバーが表示される。
Firmware Part Number	—	Firmware Part Numberが表示される。
Hardware Version	—	Hardware Versionが表示される。
Firmware Version	—	Firmware Versionが表示される。
Firmware Build ID	—	Firmware Build IDが表示される。
Firmware Build Date	—	Firmware Build した日が表示される。
PCoIP Processor Family	—	本カード／ホストカードに搭載されているPCoIP Processorの種類を表示する。
PCoIP Processor Revision	—	本カード／ホストカードに搭載されているPCoIP Processorのリビジョンを表示する。
Bootloader Version	—	BootloaderのVersionを表示する。
Bootloader Build ID	—	BootloaderのBuild IDを表示する。
Bootloader Build Date	—	BootloaderのBuild した日を表示する。

■ Attached Devices

Attached Devices
View presently connected monitors

Displays:

Port	Model	Status	Mode	Resolution	VID	PID	Date	Serial
1	DELL E207WFP	Connected	DP	1680x1050 @ 60 Hz	DEL	D011	44-2006	641806AV066L
2		Disconnected						

Show Legend

設定項目	初期値	備考
Displays	—	コンピューターに接続されているディスプレイの情報が表示される。

5.7 Upload

■ Firmware Upload

本カードのファームウェアを更新します。設定情報は保持されます。

ファームウェアのファイルを指定して「Upload」ボタンをクリックすることで、ファームウェアを更新することができます。

※アップロードには数分かかる場合がある。

※アップロード後に「Reset」ボタン、「Continue」ボタンが表示されたら、「Reset」ボタンをクリックしてください。

ファームウェアの更新では、次の点に注意してください。

- 拡張子「.all」のファイルを指定すること。
- Tera2用のファイルを指定すること。
- ファームウェア更新後※、本カードを搭載したコンピューターを再起動すること
※ ファームウェアを更新すると、元のバージョンに戻すことはできません。

■ Certificate Upload

設定項目	初期値	備考
Certificate filename	—	アップロードする証明書を指定する。 証明書には、次のことが必須条件 ・ PEMフォーマットであること ・ 秘密鍵情報が書かれていること
Available Storage	—	コンピューターの空き容量が表示される。
Uploaded Certificates	—	すでにコンピューターに登録されている証明書が表示される。
802.1X Client Certificate	—	802.1X認証で使用する証明書が表示される。

6 トラブルシューティング

6.1 トラブル一覧

■ 起動・終了時のトラブル

- 「クライアントの画面に何も表示されない」(→P.42)
- 「複数のクライアントから接続したとき、接続できないクライアントがある」(→P.42)

■ ハードウェア関連のトラブル

□ LAN

- 「ネットワークに接続できない」(→P.43)
- 「通信速度が遅い」(→P.43)
- 「ゼロクライアント側に「ネットワーク接続が半二重です」というメッセージが表示される」(→P.43)
- 「ゼロクライアント側に「ネットワーク接続が失われました」というメッセージが表示される」(→P.43)
- 「クライアント側でSLPディスカバリが正常に動作しない。」(→P.44)

□ 接続

- 「複数のクライアントから接続したとき、接続できないクライアントがある」(→P.44)

□ ディスプレイ

- 「画面に何も表示されない」(→P.44)
- 「画面の解像度を「800×600」や「640×480」にすると「OK」や「キャンセル」ボタンが画面からはみ出る」(→P.44)
- 「マルチディスプレイ実施時に、電源を入れたままディスプレイコネクタの接続／取り外しをすると、ディスプレイの設定が変わる」(→P.45)
- 「マルチディスプレイ実施時に、画面が正常に表示されない」(→P.45)
- 「FUTRO Lシリーズのファームウェアのオプションでクローン表示に設定すると、ゲストOS接続時にプライマリディスプレイのみ表示される」(→P.45)
- 「画面表示に遅れや乱れが発生し、操作がうまくできなくなる」(→P.45)

□ サウンド

- 「クライアントのスピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」(→P.46)
- 「クライアントのマイクからうまく録音ができない」(→P.46)

□ ポインティングデバイス

- 「マウスポインターが動かない、正しく動作しない」(→P.46)
- 「マウスポインタの反応が遅い」(→P.46)

□ USB

- 「USBデバイスが使えない」 (→P.47)

□ その他

- 「「ジー」「キーン」という音がする」 (→P.47)
- 「OSから本カードのネットワークが見つかりません。」 (→P.47)
- 「イベントログを取得する」 (→P.48)

6.2 起動・終了時のトラブル



クライアントの画面に何も表示されない

- クライアント本体の電源ランプが点灯していますか？
電源ボタンを押して動作状態にしてください。
- ディスプレイに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか？
 - ・ ディスプレイのブライツネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
 - ・ デジタルディスプレイや複数台のディスプレイを接続している場合、製品本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？
必ず製品本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。
製品本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、画面が表示されないことがあります。そのような場合は、いったん電源を切ってから入れ直してください。
- 本カードとグラフィックスカードが接続されていますか？
- クライアントのディスプレイと本カードのグラフィックスカードとの接続組合せを確認してください (→P.9)。



複数のクライアントから接続したとき、接続できないクライアントがある

- 接続できるクライアントを制限していませんか？
「5 AWIメニュー詳細」の「5.3 Configuration」 (→P.23) をご覧になり、次の設定を確認してください。
 - ・ 「■Session」 - 「Direct from Client」 (→P.28) の「Accept Any Peer」と「Peer MAC Address」
- 動画ファイル／音楽ファイルなどを再生中にクライアントとの接続を切った場合、他のクライアントから接続できないことがあります。
クライアント側の再生を終了した後に、接続してください。

6.3 ハードウェア関連のトラブル

■ LAN



ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
 - ・ 使用するネットワーク環境に合ったケーブルをお使いください。
- Pingがクライアント側のネットワークから届きますか？

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。



通信速度が遅い

- ネットワーク機器の電源を入れてから本製品の電源を入れてください。また、本製品をご使用中にLANケーブルを抜いたり、ネットワーク機器の電源をオフにしたりしないでください。

ネットワーク機器との接続ができなくなったり、通信速度が極端に低下したりする場合があります。

例：1Gbpsで通信していたのに10Mbpsの速度になる

ネットワーク機器との接続ができない場合は、ネットワーク機器の電源が入っていること、およびLANケーブルで本製品とネットワーク機器が接続されていることを確認後、製品本体を起動してください。



ゼロクライアント側に「ネットワーク接続が半二重です」というメッセージが表示される

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
 - ・ 使用するネットワーク環境に合ったLANケーブルをお使いください。
 - ・ LANケーブルのコネクタやLANケーブルが損傷していないか確認してください。
 - ・ 本製品の設定に一致するようにHUBの通信モードを設定してください。
- 製品の設定を確認してください。
「5.3 Configuration」の「■ Network」（→P.24）で、「イーサネットモード」の通信モードの設定とHUB側の通信モードの設定が一致しているか確認してください。



ゼロクライアント側に「ネットワーク接続が失われました」というメッセージが表示される

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
 - ・ 使用するネットワーク環境に合ったLANケーブルをお使いください。
 - ・ LANケーブルのコネクタやLANケーブルが損傷していないか確認してください。



クライアント側でSLPディスカバリが正常に動作しない。

- ネットワークの接続や設定を確認してください。(SLPのパケットが正常に通るHUBを準備してください。)

■ 接続



複数のクライアントから接続したとき、接続できないクライアントがある

- 接続できるクライアントを制限していませんか？
「5 AWIメニュー詳細」の「5.3 Configuration」(→P.23) をご覧になり、次の設定を確認してください。
 - ・「■Session」－「Direct from Client」(→P.28) の「Accept Any Peer」と「Peer MAC Address」
- 動画ファイル／音楽ファイルなどを再生中にクライアントとの接続を切った場合、他のクライアントから接続できないことがあります。
クライアント側の再生を終了した後に、接続してください。

■ ディスプレイ



画面に何も表示されない

- 「6.2 起動・終了時のトラブル」(→P.42) の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」をご覧ください。



画面の解像度を「800×600」や「640×480」にすると「OK」や「キャンセル」ボタンが画面からはみ出る

- 本製品のファームウェアのメニューは、「1024×768」未満の解像度はサポートしておりません。
設定してしまった場合は、20秒経過すると元の解像度に戻りますので、そのままお待ちください。
- 解像度を「800×600」以下に設定してしまった場合は、次のいずれかの方法で設定を解除し、「1024×768」以上の解像度に変更してください。
 - ・「ディスプレイオーバーライド機能を有効にする」のチェックを付け、「はい」をクリックします。
 - ・電源を切りもう一つのコネクタにディスプレイを接続します。一度電源を入れ、正常に起動できることを確認します。
再度電源を切り、最初のコネクタにディスプレイを接続し直します。
これで復旧することができます。



マルチディスプレイ実施時に、電源を入れたままディスプレイコネクタの接続／取り外しをすると、ディスプレイの設定が変わる

- 電源を入れたままディスプレイコネクタの接続／取り外しは、絶対にしないでください。製品本体やディスプレイが壊れるおそれがあります。



マルチディスプレイ実施時に、画面が正常に表示されない

- クライアントに3つ以上ディスプレイを接続した場合に、正しく表示されないことがあります。
クライアント側のディスプレイ接続を、2つにしてください。



FUTRO Lシリーズのファームウェアのオプションでクローン表示に設定すると、ゲストOS接続時にプライマリディスプレイのみ表示される

- FUTRO Lシリーズの仕様です。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。



画面表示に遅れや乱れが発生し、操作がうまくできなくなる

- ネットワークの帯域の占有、遅延などが発生している可能性があります。
次の例は、ネットワークの帯域、遅延の許容の目安です。

【例1】 画面表示を簡略化したWindows7^(注)で、文章作成、表計算をする場合
(画面表示を簡略化する設定^(注)で、画面表示の切り替えがあまり頻繁でない作業)
帯域幅：250kbps以上、遅延：100ms以下〔シンクライアント1台あたり〕

注：画面表示の簡略化

帯域が不足して操作性に問題が出る場合、コンピューター本体の画面表示設定を次のように変更することで、使用する帯域をある程度抑えることができます。

- ・ 壁紙を使用しない
- ・ ウィンドウ描画の効果(エフェクト)を使用しない
- ・ OSの視覚効果をパフォーマンス優先に設定する

【例2】 標準の画面表示設定を使用したWindows 7やWindows 8.1で、文章作成、表計算やプレゼンテーション資料の作成をする場合
帯域幅：2Mbps以上、遅延：100ms以下〔シンクライアント1台あたり〕

重要

- ▶ お客様の用途や使用している製品の台数によっては、これらの目安とは異なるネットワーク環境を構築する必要があります。
特に次の場合には、目安より広い帯域や、遅延時間の短縮が要求されます。
 - ・ 「大きなウィンドウを速く動かす」、「大きな画像をスライドショーで表示する」、「動画を再生する」など、短時間で急激な画面表示の切り替えが必要な場合
 - ・ 帯域幅以外の要因で、パケットの損失やパケット入れ替えが発生しうるネットワーク環境の場合
 - ・ ネットワーク帯域の使用率が8割を超えるような、帯域に余裕がない環境の場合
 - ・ 製図作業や画像編集など、マウス操作が遅くなると支障が生じる作業を行う場合

■ サウンド



クライアントのスピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- 外付けスピーカーに関して、次の項目を確認してください。
 - ・製品本体と正しく接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
 - ・音量ボリュームは正しく調節されていますか？
 - ・ヘッドホン端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- 音が割れる場合は、音量を小さくしてください。
- 音量を設定する項目から、適切なデバイスを選択してください。



クライアントのマイクからうまく録音ができない

- デスクトップの音量を設定するウィンドウで録音を有効にし、音量を調整してください。
使用するには必ず事前のシステム検証を行ってください。

■ ポインティングデバイス



マウスポインターが動かない、正しく動作しない

- マウスは正しく接続されていますか？
- キーボードは正しく接続されていますか？
- オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？
オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。
- 次のようなものの上で操作していませんか？
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの



マウスポインタの反応が遅い

- PCoIP Host Softwareの「Features」（→P.12）の設定を次のように変更してください。
「WAN Experience」の「Enable Local Cursor and Keyboard」→「Visible Cursor(S)」を「Remote」にしてください。

■ USB



USBデバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- USBデバイスがUSBハブを経由して接続されていませんか？
USBハブを経由すると問題が発生する場合があります。USBデバイスを本体のUSBコネクタに直接接続してみてください。
- USBデバイスに不具合はありませんか？
USBデバイスに不具合がある場合、OSが正常に動作しなくなることがあります。
製品を再起動して、USBデバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USBデバイスのご購入元にご連絡ください。

■ その他



「ジー」「キーン」という音がする

- 静かな場所では、「ジー」「キーン」という製品本体内部の電子回路の動作音が聞こえる場合があります。
故障ではありませんので、そのままお使いください。



OSから本カードのネットワークが見つかりません。

- 本カードはOSからは一般的なネットワークアダプタとしては動作しません。
デバイスマネージャーに次の名前でデバイスとして登録されています。
 - ・ システムデバイス
PCoIP(R) Device
PCoIP(R) Device ※デバイスが2つあります。
 - ・ ヒューマンインターフェースデバイス
PCoIP(R) HID Minidriver
 - ・ マウスとそのほかのポインティング デバイス
PCoIP(R) Mouse



イベントログを取得する

- イベントログの取得はAWI経由で行います。
「5.5 Diagnostics」の「Event Log」(→P.35)で、AWIのEvent Logを次の手順で設定してください。
 1. 「Enable Event Log」にチェックが付いていることを確認します。
 2. 「Enable Syslog」にチェックを付けます。
 3. 「Syslog Host IP Address」に、調査する本カードのIPアドレスを入力します。
 4. 詳細ログを取得する項目を選択します。
Categoryで、取得したいログを選択しチェックを付けます。(複数同時には選択できません。)
サポートしている項目は次のとおりです。
 - ・ AUDIOAudio関連のログ取得
 - ・ MANAGEMENT CONSOLE ...マネジメントコンソール関連のログ取得 (サポートしていません。)
 - ・ NETWORKINGネットワーク関連のログを取得
 - ・ SESSION NEGOTIATION ...PCoIPセッション関連のログ取得
 - ・ SYSTEM本カードの内部システムのログ取得
 - ・ USBUSB関連のログ取得
 - ・ VIDEOVIDEO関連のログ取得
 5. 本カードにリモート接続して、不具合現象を再現させます。
 6. AWIにログインし、ログの取得／保存を行います。
 1. 「Event Log Messages」の「View」ボタンをクリックします。
ログが別ウインドウで表示されます。
 2. 表示されているログをすべてコピーし、メモ帳などのアプリケーションに貼り付け、txtファイルとして保存します。
AWIにログインしたコンピューターのハードディスクに保存されます。
 7. ログを取得後に設定を元に戻します。
 1. 「Enable Syslog」のチェックを外します。
 2. 「Enable Event Log」にチェックが付いていることを確認します。

7 仕様一覧

項目		詳細
PCI Express Rev		1.1
コントローラー		Teradici 2220
ROM (F/W)		V4.7.1以降
RAM		512MB DDR3(ECC)
LANインターフェース		IEEE802.3 10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T
LED	LAN インターフェース	LINK : オレンジ色 (アンバー) Act : Tx / Rx で緑色点滅
	PCoIP	PCoIPセッションLED : 緑色点灯 ハートビート : カードが正常に動作しているとき赤色点滅
消費電力		13W
使用ポート	4172	TCP : 双方向 UDP : 受信

※HDCPコンテンツのリモートアクセスには対応していません。

※すべてのUSB機器のリモートアクセスについては保証していません。

RemoteAccessカード AWI設定記録シート

本シートはRemoteAccessカードに対する必要最低限の設定を記録します。

印刷してご使用ください。

RemoteAccessカードのメンテナンスなどに使用しますので、変更した設定をご記入のうえ大切に保管してください。

☐ ネットワーク設定

項目	設定値	備考
DHCP	チェック あり・なし	
IPアドレス	. . .	
サブネットマスク	. . .	
ゲートウェイ	. . .	
プライマリDNSサーバー	. . .	
セカンダリDNSサーバー	. . .	
ドメイン名		
FQDN		

☐ セッション設定

項目	設定値	備考
Accept Any Peer	チェック あり・なし	
Peer MAC Address	: : : : :	

☐ その他（項目をご記入の上、値を記録してください）

項目	設定値	備考

RemoteAccessカード
取扱説明書

B5FK-6151-01 Z0-00

発行日 2015年8月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。